執筆者索引

図書紹介の筆者は含まれていない

A
相田由美子 93
Alvarez, A. 129
安藤達彦 125
B
Bedascarrasbure, E. 129
Bilikova, K. 53
C
Crane, E. 25
E
榎本ひとみ 35, 88
F
藤幸知子 145
H
Hannan, MA 76
久志冨士男 88
I
池野久美子 113
池野武行 113
K
門田重利 107
柿本佳名子 113
笠原麗美 88
岸野千絵 125
久保健雄 145
熊澤茂則 152
M
Maldonado, L. 129
松香光夫 189
松浦誠 11, 63, 97, 165
N
中山勉 152
中村純 1, 119, 142, 181
中村正 113
鳴海周平 119
Newlands, C. 159
Nicholls, Y.M. 159
O
生内香織 125
S
酒井哲夫 35
佐々木正己 49
下位香代子 152
篠原力雄 113
Šimuth, J. 53
T
竹内秀明 145
建元喜寿 81
手塚康弘 107
W
和田依子 1
Y
吉田忠晴 187

ニュース

生き物文化誌学会例会「蜂と養蜂の文化誌」開催

10月4日に静岡市日本平ホテルで生き物文化誌学会の第7回例会が「蜂と養蜂の文化誌」をテーマに開催され，「家畜化された昆虫たち」（梅谷献二），「人に役立つミツバチとその生産物」（松香光夫），「伝統養蜂にみるハチとヒトの関係」（佐治靖），「タイの村落開発およびシリキット王妃プロジェクトにおける養蜂の役割」（シリワット・ウォンシリ）の4題の講演があった（講演内容については後日掲載予定）．参加者は養蜂家や学会員など約90名で，当施設は企画段階から参画，静岡県養蜂組合も協力参加した．

日本補完代替医療学会学術集会

10月29-31日に金沢市の石川県立音楽堂を会場として「補完代替医療のエビデンスを求めて」をテーマに日本補完代替医療学会第7回学術集会が開催された．一般発表（ポスター）でプロポリスに関する3題の発表があったほか，2日目午前にはプロポリス研究者協会 (PRA) によるサテライトセミナー「プロポリスと代替医療」も開催され，プロポリスの効能に関して実際的な3題の講演があった．

また交流ホール（展示場）には同協会が出展ブースを設け，会員企業によるプロポリス製品の展示，パンフレットやサンプルの配布があり，関心を集めていた．

編集後記　先号で台風と熊の夏と書いたところへ，今度は地震．生産物関係では中国産ローヤルゼリーから抗生物質の検出が相次ぐなど，今年は結局いいニュースがなかった分，来年に期待したいという気持ちになれる師走に早くも突入．松浦先生の連載は今回の第7回で完結．1月には7回分をまとめて1冊に組み直して出版の予定．白黒でしか紹介できなかった写真の一部を表紙にカラーで掲載する．第7回で登場したニュージーランドからは医薬品品質のハチミツ生産に関する記事を掲載した．また読売新聞の記事で話題になったミツバチのkakugo（覚悟）ウイルスについては，原著の著者である東大久保研の皆さんに本誌用に書き下ろしていただいた．静岡県立大学グループのグループにはプロポリスの医薬効果の前提となる含有成分の体内動態についての解説をいただいた．1月9日には恒例の研究会を開催．よいお年をお迎え下さい．（純）